

ひきこもり大学 in 山梨

おもいにみ学科

～ 一人ひとりの思いにみやとらわれから自由になって、
みんなでひきこもりを考える ～

とき **2015.6.19 [金]**

18:30 ~ 20:15 (開場 18:15)

参加費 1,000 円

ところ **山梨県立図書館 1F イベントスペース**
〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8番1号

定員 **80名**
(申し込み不要)



タイムスケジュール

1時限目

トーク

ひきこもり、 を好きになる

地方でひきこもる45歳男性が、外に出て200人の
生き方に触れ好きになったものは？

パネリスト
池上正樹
(ジャーナリスト)



パネリスト
永嶋聡
(元当事者)

1962年生まれ。大学卒業後、
通信社勤務を経てフリー
ジャーナリストに。著書に「外
に出る理由」を探している人
たち」「ドキュメントひきこ
もり」「ふたたび、ここから 東
日本大震災・石巻の人たちの
50日間」などがある。

1969年生まれ。中卒。小学校5年
から5年間を不登校で過ごし、通信制高
校に入るもすぐに中退。非正規雇用
で工場、建設現場、コールセンター、
水商売、マッサージ店など20以上の
仕事をするがどれも長続きせず。40
歳で行き詰まり、働くことから撤退。
ひきこもり状態になる。しかし、な
ぜか外に出てくる。

10分休憩

2時限目

グループトーク **自由参加**

いくつかのグループにわかれて、グループごとのテーマに
ついて話し合います。(例：ひきこもりのイメージを変える
には？支援するってどういうこと？など)
フリーテーマのグループもあり。

ひきこもり大学 は、ひきこもっている
本人が先生になって、ひきこもっていた
経験や知識・知恵を当事者や親や家族、関
心のある一般の人たちに伝える取り組みで
す。2013年9月に非公開でスタートし、全
国に広がっています。

ミニ企画展 **「箱の中の声」**

ひきこもりをめぐる
「箱」の中の声を集めました。

当事者も、家族も、支援者も、ひきこもり
は素晴らしいと思う人も、ひきこもりは危
け者だと思える人も…みんなそれぞれの「箱」
に入っているんじゃないか。私たちはそんな
疑問からこの企画を考えました。「箱」っ
て、いったいなんだろう？

展示時間 **13:00 ~ 20:00**

会場 **交流ルーム104**

問い合わせ **hikidai0619@gmail.com**
080-5434-6969 (実行委員会:永嶋)

主催 **6.19 ひきこもり大学 in 山梨 実行委員会**



6.19 ひきこもり大学 in 山梨
Facebook ページ

<http://www.facebook.com/hikidai0619>

